

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和6年度第2回南小・中学校 学校運営協議会
日時	令和6年9月3日（火曜日） 14時40分～16時00分
場所	南小学校 2階 わくわくルーム
出席委員	宇津木会長、内野泰委員、大塚委員、佐藤嘉委員、佐鳥委員、金泉委員、藤尾委員、田中委員、山口委員、廣田委員、内野昌委員、高橋宏委員、黒川委員、鯨井委員 田嶋委員（南中校長）、小川委員（南小校長）
欠席委員	佐藤孝委員、鈴木委員、高橋委員、三浦委員
事務局	南小学校 目黒教頭、小熊事務主事 南中学校 藤田教頭、長村事務主任
議題	（１）第1回学校運営協議会議事録について （２）児童生徒の学力（県学調・全国学調）の結果について （３）その他
配布資料	・ 令和6年度第2回鶴ヶ島市立南小中学校学校運営協議会式次第 ・ 鶴ヶ島市立南小学校 学校だより及び活動の様子 ・ 鶴ヶ島市立南中学校 学校だより及び活動の様子 ・ 令和6年度第1回学校運営協議会議事録 ・ 鶴ヶ島市立南小学校 令和6年度全国学力・学習状況調査の調査結果概況及び埼玉県学力・学習状況調査の学力の伸びの状況 ・ 鶴ヶ島市立南中学校 令和6年度全国学力・学習状況調査の調査結果概況及び埼玉県学力・学習状況調査の学力の伸びの状況 ・ 第3回学校運営協議会の開催について（通知） ・ 南小学校 令和6年度運動会について（ご案内） ・ 南中学校 「文化祭」について（ご案内）
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	（１）第1回学校運営協議会議事録の要点を確認した。 （２）各調査の結果分析について各校教頭から説明を行った。 （３）各団体が活動や今後の予定を報告した。

【議事概要】

○開会の言葉・あいさつ

<会長>

- ・ この地域では、台風10号の被害はそれほど大きくなかった。
防災については、学校と地域で協力して進めていきたい。
- ・ 今日の大きな議題は、児童・生徒の学力調査の結果についてです。

<南小校長>

- ・大きな事件、事故なく夏休みが終わり、2学期が始まった。「靴そろえ・話を聞く姿勢・授業中の態度」が抜けているところもあるので、声をかけていきたい。
- ・海外から戻ってきた児童や、外国籍の児童の転入も非常に多くなっている。昨年度から、日本語指導の教員が個別に対応している。
- ・中学卒業までに自信をもって行動できるように、南小・中で子ども達を育成していきたい。そのために、地域の方には子ども達を認め、大いにほめていただきたい。

○南小・中の児童・生徒の様子

<南小教頭>

- ・ボールの投げ方教室（4年）
- ・交通安全教室
- ・リコーダー講習会（3年）
- ・水泳指導 今年度からコナミスポーツクラブで実施
- ・自然体験学習（5年）
- ・小中合同避難訓練
- ・手芸ボランティア（5年）
- ・鶴っ子サマースクール 99名が参加（市内でもトップクラス）

<南中教頭>

- ・体育祭
- ・学校総合体育大会
- ・生徒総会
- ・生徒朝会、生徒会レク（だるまさんが転んだ）
- ・社会体験チャレンジ（2年）
- ・高校説明会出前授業
- ・地域ボランティア サマーカーニバルで吹奏楽部が演奏
- ・やぎが来校
- ・非行防止教室
- ・始業式、不審者対応訓練

<委員>

非行防止教室では、現在どのようなことに取り組むのか。

<南中教頭>

SNSなど、ネット関係を中心に取り組んでいる。

<会長>

SNSの誹謗中傷などが中心か。

<南中教頭>

薬物などにも取り組んでいきたいと考えている。

<会長>

防災訓練では、中学生が仮設トイレについて非常に上手く説明できており、他の地域の方からもお褒めの言葉を頂いていた。

○コミュニティスクールの視察

<会長>

- ・ 7月31日 東三鷹学園 三鷹市立第六中学校
- ・ 鶴ヶ島市全体から40名ほど参加。
- ・ 施設一体型を予定している南小・中と違い、小・中の施設が別々にある分離型。
- ・ コミュニティスクールがどのように行われているかについて説明があった。
- ・ 広報部がスクールコミュニティカレンダーを作成。
- ・ 教育委員会がハンドブックを作成し、活動をバックアップしている。
- ・ 事前質問に対する回答については、メールでご確認ください。

<委員>

- ・ 三鷹は施設分離型の一貫校が多く、ハード面のリスクは少なかったと思う。
- ・ 7つの学園がそれぞれ連携し、市全体がコミュニティスクールに向けて動いており、南小・中とは少し違う印象を受けた。

○南小・中学校地域学校保健委員会

- ・ 定期健康診断・体力テストの結果報告と、講演会を実施。
- ・ 虫歯が小学校15%、中学校10%。その他口内トラブルは中学校の方が多い。
- ・ 視力1.0未満が小学校29%、中学校でも半分ほど。
- ・ 体力テストは県平均とほぼ同じくらいだった。ハンドボール投げが少し弱い。
- ・ 給食では、残食量調査が行われる。保護者に給食センターだよりが配信されている。
- ・ 講演会では、学校医から近視の原因と種類について説明があった。
- ・ 20分近くを見たら20秒遠くを見ることで、近視の進行が穏やかになる。

<委員>

ファミリーサポートをやっていて、産休・育休中の母親に孤立感があると考えている。1歳前後の子どもがいる家庭にも参加してもらえれば、地域が広がると思う。

<委員>

- ・ 鶴ヶ島市にも、不登校などで学校に通えていない子も体力測定などを受けられる機会があるとよい。子ども達を孤立させないように、選択肢を作っていきたい。
- ・ 「けがをしない体づくり」を意識して、運動器検診について取り組めるとよい。運動器検診は学校とは別の組織が実施しているため、情報共有や講義をしてもらえるとよい。

<委員>

報道によると、予算の関係で給食の量が減ったり、業者が廃業して給食が届かなくなったりする市があるようだが、鶴ヶ島市ではどうか。

＜南小校長＞

給食は足りている。

＜委員＞

夏休みで子どもが食事をとれないという話もあり、物価の上昇で子どもの手当てができない家庭も出てきそうで心配している。この地域に子ども食堂はあるのか。

＜委員＞

この地域にはない。

＜委員＞

新町小と東市民センターでやっていたが、コロナ禍でなくなってしまった。

＜委員＞

市独自でやっているところはない。

＜会長＞

物価の上昇による予算のやりくりはどうしているのか。

＜南中校長＞

給食費については、給食センターが見直しをしているところだ。

＜南小校長＞

鶴ヶ島市では給食の開始日と終了日が学校によって違うので、給食センターが1校のためだけに稼働することもあり、食材ロスや人件費も余分に出してしまう。
来年度からは日程を合わせていく方針だ。

議題（１）

第１回学校運営協議会議事録確認

＜会長＞

今回は会長・副会長の選出と、学校経営方針の承認・確認を行いました。

議題（２）

児童生徒の学力（県学調・全国学調）の結果について

＜南小教頭＞

・ 県、全国どちらも平均より少し低かったが、一人ひとりの昨年度からの伸びは

とても大きかった。学力向上のための取組が結果に表れてきている。

- ・国語では、新聞記事の読み取りの回数・学年を増やした。
少人数指導によって教員の指導が届き、ノートや児童の様子も見取りやすくなった。
- ・算数でも、少人数指導によって教員が児童のつまずきに気づき、個に応じた指導ができやすくなった。
児童が苦手な問題を把握・分析し、似た問題に重点的に取り組むことで、苦手を解消できるようになった。
- ・学び合い学習の推進によって、自分の考えを伝えられるようになっている。
- ・鶴っ子サマースクールの参加率が市内でも高く、児童はやる気に満ちあふれている。

<南中教頭>

- ・中1の国語は県平均の1段階下。できる子とできない子の差が激しくなっている。
- ・中2の数学は県平均の2段階下から2段階上に大きく伸びた。
昨年度から学力向上プログラムで教員の加配があり、計算練習を徹底的に行った。
来年度も加配が続くので、さらに伸ばしていきたい。
- ・中3の英語では、上位層がとても伸び、県平均よりもかなり上にきている。
受験を迎えるにあたり、さらに伸びていてくれるのではないか。
- ・少人数やTTは数学に限らず英語・理科でも行っており、これからも学力向上に取り組んでいきたい。

<会長>

小学校でも県平均などは意識するか？

<南小校長>

もちろん気にはするが、子ども達が抱えている課題は他にもあり、同時並行して考えていかなければならない。(不登校や、朝ごはんを食べているかどうかなど)

<委員>

- ・市内の他の学校と比べると、どのくらいの差があるか。
- ・鶴ヶ島は英語が県レベルよりも高い。英検を市で全員受けられるようにもしてあり、伸ばせるところは伸ばしてあげたい。
- ・様々な課題を抱えている子どもが多い中で、学校は学びの場として、学習に取り組む姿勢についてきちんと取り組んでほしい。

<校長>

とても低い訳ではないが、平均よりは少し下である。

<会長>

できる子とできない子がいるので、平均としては少し下がるのだと思う。

<委員>

市内でも外国籍の子が二千人を超えた。格差が大きくなるのは当然だと思う。

学校の方針はいろいろあると思うが、保護者と密に連携を取りながらやってほしい。

<委員>

中2の数学がとても伸びてよかった。県のプロジェクトは何年続くのか。

<南中教頭>

教員の加配は来年まで。

<会長>

そこで得たノウハウを他の教員と一緒にやっているのか。

<南中教頭>

このプロジェクトではまさにそういう取組を行っている。
小学校でも週1回授業を行っている。

<委員>

保護者から「なぜ加配がなくなってしまったのか」と言われないように頑張ってもらいたい。

<会長>

学校はやはり勉強する場でもあるので、学力についてはしっかり取り組んでほしい。

議題（3） 連絡

<会長>

参加団体から、今までやってきたことやこれからやることなどを報告してください。

<サザン会長>

- ・健全の畑での野菜作り（さつまいもなど）
放課後子ども教室 10名程度が6月から参加
- ・ウォークラリー（10月19日）
中学生はボランティア、小学生は参加をお願いしたい。

<健全育成会会長>

- ・わいわいがやがや祭り（12月7日）
昨年は中学生には色々なイベントをやってもらったので、今年もどのように一緒にやっていけるか協議したい。

<民生児童委員>

高齢者の見守りだけでなく、子ども達の見守りもしている。
何かあればお声がけください。

<会長>

子どもが声をかけると高齢者の方への刺激になるので、あいさつ運動はよいと思う。

<主任児童委員>

- ・ 児童養護施設を舞台にした『ひまわりの家』を観劇した。
子どもが恥ずかしいからと伝えないことを大人達が見つけて、すくっていかねばならないというメッセージを残して終わった。
- ・ 保健センターのゆりかご教室では、赤ちゃんのサポートをしている。
未就学児の家庭ではママ友など横のつながりがなく、見落とされてしまう。夫婦2人で育てようという家庭も増えており、頑張りきれない孤立感が若者達にあると感じている。
- ・ 地域の情報を皆さんから頂きながら、活動していきたい。

<社会福祉協議会会長>

中学生のゴミ捨てボランティアがネット上で誹謗中傷を受けている。
誹謗中傷は相手にせず、子ども達をほめていきたい。子どもだから、年寄りだからと言って見捨てることのないよう、皆さんとともに考えていきたい。

<児童館館長>

- ・ 中学生も毎日何人かは来ており、嬉しく思っている。
- ・ 0歳から18歳まで、他市から来る子もいる中で、トラブルも少し増えてきている。
- ・ 南中の吹奏楽部に演奏に来てもらった。少しずつ地域との関わりをもてればと思っている。

<市民センター館長>

- ・ 虹の大橋まつり（10月26日）
- ・ “元気”な子どもには注意をすることもある。何かあれば相談させてください。

<学校応援団コーディネーター>

- ・ 小中どちらも、子ども達に会うとあいさつをしてくれる。優しく育っていると感じている。
- ・ 不登校の子ども達へのサポートについて、個人情報の問題などから、家庭にどこまで入っていけるか。入っても拒絶されることもあり、難しさを感じている。

<南小PTA会長>

- ・ 開校40周年記念事業（6月） 航空写真の撮影
式典は実施しなかったが、クリアファイルを配布する。横断幕も設置した。
- ・ 連合運動会（9月26日）

・除草作業（9月28日）

＜南中 PTA 副会長＞

制服バザー（9月14日、11月30日）

＜委員＞

横断幕を外す時期を小中で話し合った方がよい。
我々の時は卒業式の後、入学式の前には外した。

＜南小教頭＞

運動会（10月12日）

＜南中教頭＞

文化祭（9月14日）

＜会長＞

その他になれば、これで第2回学校運営協議会を終わりにします。
第3回は、11月29日に南中で行います。